

感染症学講座

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	酒巻一平	令和3年4月～
助教	廣田智哉	令和3年7月～

2. 研究概要

研究概要

抗菌薬、抗ウイルス薬といった抗微生物の抗炎症性サイトカイン抑制作用の検討をしている。
ワクチン担体としての尿酸結晶に着目し、効率的なワクチン開発の検討をしている。

キーワード

抗微生物薬、サイトカイン抑制、ワクチン、尿酸結晶

業績年の進捗状況

2024年度は抗菌薬に加え、新規抗真菌薬、抗ウイルス薬の抗炎症作用およびその機序に関する検討も開始した。

特色等

抗菌薬、抗ウイルス薬といった抗微生物の抗炎症性サイトカイン抑制作用の検討をしている。抗微生物作用だけでなく、抗炎症作用に着目することによる重症感染症の新たな治療戦略の開発。
痛風を引き起こす物質である尿酸結晶の新たな作用に着目した効率的なワクチンの開発。

本学の理念との関係

本学理念に掲げられている「格致」に基づき、抗微生物薬の抗微生物効果のみならず、抗炎症作用に着目し、感染症治療の新たな未来を拓くことを目標としている。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文	ファーストオーサー	0	0	—	—
	コレスポンディングオーサー	2	2	6.58(4.38)	5(5)
英文論文	コレスポンディングオーサー	3	2	10.58(8.38)	2.9(2.9)
	その他	24	2	70.463(53.363)	2.8(1)
	合計	26	5	77.043(61.743)	8.8(7)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

24001

Yudai Tanaka, Koji Hayashi, Ei Kawahara, Shin-Ichiro Azuma, Maho Hayashi, Yuka Nakaya, Asuka Suzuki, Midori Ueda, Rei Asano, Hiromi Hayashi, Toyoaki Miura, Kouji Hayashi, Mamiko Sato, Yasutaka Kobayashi: Bilateral adrenal hemorrhage and hemophagocytosis in the reticuloendothelial system caused by Escherichia coli in a young woman: an autopsy case, Frontiers in Medicine, 12, 202503, DOI: 10.3389/fmed.2025.1496961（症例報告）, #3.1

24002

Yudai Tanaka, Miho Mitsui, Nanae Asahi, Hiromichi Iwasaki, Ippei Sakamaki: Evaluation of an automated rapid plasma reagin test of serum and cerebrospinal fluid for monitoring neurosyphilis treatment: A case report, Journal of Infection and Chemotherapy, 31(2), 102518, 202502, DOI: 10.1016/j.jiac.2024.09.007（症例報告）, #1.9

24003

Chika Tsuchida, Ippei Sakamaki, Norichika Hashimoto, Toshiko Iwasaki, Yoshitomo Saiki, Yuzuru Takeuchi, Shinichi Katsuo, Hiromichi Iwasaki: Comparison of X-ray and CT Images of COVID-19 Caused by the Wild-Type and Alpha-Variant SARS-CoV-2, Cureus, 16(12), 76493, 20241227, DOI: 10.7759/cureus.76493, #1

24004

Mayuko Saito, Keiichiro Kita, Ippei Sakamaki, Yoshihiro Yamamoto, Seiji Yamashiro: Medical Team Intervention Into a Long-Term Care Health Facility in Japan During the First Wave of the COVID-19 Pandemic, CUREUS JOURNAL OF MEDICAL SCIENCE, 16(5), 61042, 202405, DOI: 10.7759/cureus.61042, #1

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

24005

Yoichi Nakayama, Wataru Nagata, Yoichi Takeuchi, Sho Fukui, Yuya Fujita, Yohei Hosokawa, Masanobu Ueno, Kumiko Ono, Shuji Sumitomo, Yuya Tabuchi, Yuichiro Nakanishi, Shuntaro Saito, Hiroko Ikeuchi, Kazutaka Kawamori, Hideaki Sofue, Goro Doi, Runa Minami, Tomoya Hirota, Kaoru Minegishi, Keisuke Maeshima, Ryo Motoyama, Shohei Nakamura, Shotaro Suzuki, Norihiro Nishioka, Takuma Tsuzuki Wada, Akira Onishi, Kenichi Nishimura, Ryu Watanabe, Ryo Yanai, Takashi Kida, Hiroki Nishiwaki, Nobuyuki Yajima, Yuko Kaneko, Eiichi Tanaka, Yutaka Kawahito, Masayoshi Harigai: Systematic review and meta-analysis for the 2024 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis, MODERN RHEUMATOLOGY, 34(6), 20241015, DOI: 10.1093/mr/roae049, #1.8

d. その他研究等実績（報告書を含む）

24006

Itoh Kazuhiro, Kabata Daijiro, Shigemi Hiroko, Hirota Tomoya, Sakamaki Ippei, Tsutani Hiroshi, Mitsuke Yasuhiko, Iwasaki Hiromichi: In reply to the Letter to Editor regarding "Evaluation of tetracycline and fluoroquinolone therapy against Japanese spotted fever: Analysis based on individual data from case reports and case series, International Journal of Antimicrobial Agents, 64(2), 107246, 202408, DOI: 10.1016/j.ijantimicag.2024.107246, #4.9

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

業績一覧

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

24007

酒巻 一平: Anti-TNF-alpha effect of quinolone antibacterial agents, APLAR 2024, シンガポール, 20240823

24008

酒巻 一平、田中 幸枝、田中 雄大、岩崎 博道: Combination of minocycline and ciprofloxacin enhances the inhibitory effect of TNF alpha production in LPS-stimulated THP-1 cells, ESCMID Global 2024, バルセロナ, 20240427

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

24009

酒巻 一平、田中 幸枝、田中 雄大: キノロン系抗菌薬による抗炎症作用, 第45回日本炎症・再生医学会, 福岡市, 20240717

24010

酒巻 一平、田中 幸枝、田中 雄大、岩崎 博道: 抗微生物薬によるTACE抑制を介したTNF α 産生抑制, 第52回日本臨床免疫学会総会, 東京都新宿区, 20241011

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

24011

廣田 智哉: 腎機能障害の RA患者における Phase 2 での薬剤選択, Expert Web Seminar in 京滋北陸, 20250228

24012

酒巻 一平: 福井大学のHIV医療体制と治療動向について, 医療相談会, 金沢市, 20241005

24013

酒巻 一平: 職業感染と経路別感染対策, 第16回北陸中材業務・感染対策研究会, 福井市, 20241208

24014

廣田 智哉: リウマチ診療ガイドライン2024からSELECT試験を眺望する, Expert Web Seminar in 北陸, 20240606

24015

酒巻 一平: 福井県における感染症の現状, 福井感染症セミナー, 福井市, 20241108

24016

酒巻 一平: 新興感染症・抗菌薬適正使用について, 令和6年度感染症管理リーダー育成研修（公開講座）, 福井市, 20240629

24017

酒巻 一平: COVID-19とインフルエンザ診療の今後の在り方, 第214回奥越学術講演会, 大野市, 20240424

24018

酒巻 一平: 敗血症の病態及びPK/PDを考慮した薬剤選択, 感染症ベーシック・スクール2024 抗菌薬適正使用編, 名古屋市, 20240915

24019

酒巻 一平: 次世代mRNAワクチンを含む新型コロナウイルスワクチン, COVID-19ワクチンWeb講演会in北陸, 坂井市, 20241202

24020

酒巻 一平: 次世代mRNAワクチンコストタイプ@筋注用について, コストタイプ@筋注用Web講演会in浜松, 坂井市, 20241206

業績一覧

- 24021** 酒巻 一平：施設での感染対策について、福井県感染症予防計画に基づく施設等職員向け研修会、福井市、20240216
- 24022** 酒巻 一平：院内感染対策と発熱外来について、福井県感染症予防計画に基づく医療従事者向け研修会、福井市、20240222
- 24023** 酒巻 一平：高度免疫不全患者に対するCOVID-19治療、岐阜血液内科感染症セミナー、福井市、20240326

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額	
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額	

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の所属

学会の名称	役職	氏名
日本リウマチ学会	一般会員	廣田智哉
日本臨床免疫学会	一般会員	廣田智哉
日本感染症学会	一般会員	廣田智哉
日本リウマチ学会	一般会員	酒巻 一平
日本内科学会	一般会員	廣田智哉
日本血液学会	一般会員	酒巻 一平
日本感染症学会	一般会員	酒巻 一平
日本内科学会	一般会員	酒巻 一平

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演	福井真菌症セミナー	酒巻 一平
一般講演	第98回日本感染症学会 学術講演会・日本化学 療法学会総会合同学会	酒巻 一平
一般講演	病院におけるCOVID-19 治療を考える会	酒巻 一平
一般講演	第51回 北陸公衆衛生 学会	酒巻 一平
一般講演	第94回日本感染症学会 西日本地方会学術集会 /第72回日本化学療法 西日本支部総会 研修 医セッション3	酒巻 一平
一般講演	福井県COVID-19治療セ ミナー	酒巻 一平
一般講演	日本医真菌学会東海・ 北陸支部第9回深在性 真菌症部会 特別講演	酒巻 一平
一般講演	第98回日本感染症学会 学術講演会・日本化学 療法学会総会合同学会	酒巻 一平
一般講演	病院におけるCOVID-19 治療を考える会	酒巻 一平
一般講演	福井真菌症セミナー	酒巻 一平
一般講演	第51回 北陸公衆衛生 学会	酒巻 一平
一般講演	第94回日本感染症学会 西日本地方会学術集会 /第72回日本化学療法 西日本支部総会 研修 医セッション3	酒巻 一平
一般講演	福井県COVID-19治療セ ミナー	酒巻 一平
一般講演	日本医真菌学会東海・ 北陸支部第9回深在性 真菌症部会 特別講演	酒巻 一平

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員 の別	氏名	査読編数
----------	-------	------------------	----	------

(E) その他

- 24024** コロナ新ワクチン「レプリコン」特徴は あすから定期接種始まる（福井テレビ）、20240930
- 24025** 健康のタネ 薬剤耐性菌の実態とは サイレントパンデミック（福井テレビ）、20240729

業績一覧

24026 基本的な感染対策を “新型コロナ” 流行の入り口” (FBC), 20240724
24027 「ピークはお盆前後になる見込み」新型コロナ 7週連続増加 (福井テレビ), 20240722
24028 コロナ5類移行1年～県内の今～ ④感染症専門 酒巻教授 (福井大) に聞く 服薬せぬ人 症状注視 公費支援終了 高額に (福井新聞), 20240509

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
	福井市	特別職非常勤職員 (感染症対策官)		20240401-20250331

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項